

ある日の育児日記から

(52)

佐藤 和代



ある夜、有が突然言い出しました。「お散歩、いこー」お散歩？ まっくらよー、寒いわよー、と説得しても「いきたい」の一点張り。とうとう根負けして、圭と有と三人で出かけました。さて、どこへ行く。近くて面白いところ。そうだ、消防署！ 有の好きな「ビーポー」があるものね。ところが、連れていったとたん、有は入り口にすわりこんで「お散歩いくー」と大泣き。「今、お散歩しているでしょ」「ちがう、お散歩ー」：何が違うの?? 疑問符をとばしつつ家に帰りましたが、翌日、また夕食後「お散歩、いこ

！」です。そしてまた、どこへ行っても「ちがう、お散歩」と泣きだす。一体どうしちゃったの？ 謎が解けたのは翌週でした。レンタルビデオの店の前を通ったら、有が看板を指差して「お散歩！」と叫んだのです。これかあ。きつと、私の留守中、敬（お父さん）が「有、散歩行こう」とか何とか言って、レンタルビデオ屋に連れていったのね。有の頭には、お散歩⇨レンタルビデオ、と、しつかりインプットされてしまったんだ。

今、「ビデオ屋に行くのはお散歩と言わない」とやっきになって教えていますが有はまだ理解していないよう。一度寛えたものってなかなか抜けないのね…。



主のリカちゃんは、私の友んからのおじかり... 毎代モノゾ他の子と顔かちがうの。